

活動分野	地域部会（南総部会）		
タイトル	早春の自然観察会		
実施日時	平成31年 3月2日（土）10時～14時		
実施場所	君津市 清和県民の森（スポーツ広場から三島神社まで往復）		
受講者	8名	FIC会員他スタッフ	FIC5名 県民の森2名

活動の内容



満開のカワズザクラ

今回の観察テーマは「早春の里山で春を探そう」です。前回の野鳥観察が中止になったので、前回野鳥観察を希望した方にスライド参加していただき、植物と野鳥を両方ターゲットにしました。風がやや冷たかったものの、前日までの雨模様とは全く違う晴天に恵まれ、気持ちのよい里山あるきが期待できます。トビが高い空に11羽も舞う中で注意事項を確認し

て観察会が始まりました。上空のトビを見上げながら、なぜ君津でトビが多いのかという参加者からの質問に答えは「食べ物があるから」「釣り人が湖でつり上げてポイ捨てした魚を狙っているのです」でした。三島湖は例年よりも水量が少なく釣り客のボートが行き交い水鳥の姿が少なかった。くじら島を一周してモミ・アセビ・ヒメコマツ・ヤブツバキ・カンヒザクラの蕾を見た後、一般道を三島神社に向かいました。のどかな風景が広がっていましたが、農地の周囲はイノシシよけの電気柵で囲まれ、藪だったところには太陽光発電のパネルが設置され、徐々に風情のある風景が浸食されているのを感じました。三島神社で社叢林として守られてきた、希少植物（アサダ・クモノスシダ・オオバヌスビトハギ・リンボク・オオアリドオシ・ミヤマシキミ）を観察して出発地に戻りました。

春を感じる草花はフキノトウ・オオイヌノフグリ・セイヨウタンポポ・ホトケノザ・ヒメウス・ヒメオドリコソウ・シュンランの葉（蕾みはまだ）・タチツボスミレ・タネツケバナとミチタネツケバナなど。観察できた野鳥はキジ・マガモ・スズガモ・キジバト・アオサギ・トビ・コゲラ・ハシボソガラス・ハシブトガラス・シジュウカラ・ヒヨドリ・ウグイス・エナガ・ムクドリ・ツグミ・ジョウビタキ・スズメ・ハクセキレイ・カワラヒワ・アオジ・コジュケイなどでした。



三島神社の大杉



庚申塚とお地蔵様

